平成28年度行政評価 事務事業評価シート（平成27年度実績）

事務事業コード	030401170	予算コード	01021100
事務事業名	訪問看護利用料助成事業		
担当課	障害福祉総務課		
根拠法令等	市単独事業 ■要綱・要領 泉佐野市重度障害者訪問看護利用料助成事業実施要綱		
事務事業類型	運営事業		
実施手法	市直営		
対象			
特定の市民		対象数	7
身体障害者手帳１・２級、療育手帳Ａ所持者、身体障害者手帳3～6級			
事業の内容			
重度障害者（児）が指定訪問看護事業者の訪問看護を利用した際に、保険診療に要した費用のうち、重度障害者（児）若しくはその家族が負担すべき額から、老人保健法に基づく額を除いた額を助成する。			
事業の目的			
重度の障害者(児)で在宅において療養が必要な者に対し、訪問看護の利用を促進することにより、生活の質に配慮した在宅医療の推進を図る。			

従事人員(人)	
正規職員数	0.05
嘱託職員数	0
臨時職員数	0
歳出(千円)	
人件費総額	426

投入コスト(千円)	
国庫支出金	0
府支出金	517
市債	0
その他	0
一般財源	945
減価償却費	0
事業費	1,036

フルコスト(千円)	1,462
市民1人当りコスト(円)	14

活動指標	H27実績
申請件数	503.0
申請人数	7.0

成果指標	H27実績
利用件数	503.0
利用人数	7.0

コスト指標	H27実績
助成１件当りの経費	2,907.0
助成１人当りの経費	208,857.0

評価	評価点
有効性	B
効率性	C
妥当性	B
受益者負担	B
緊急性	A
公的関与	A
実施主体・委託化	A
他の事務事業との関連	A
透明性	C
財政健全化計画	該当なし
財政健全化の取組	該当なし
改革改善プラン達成度	該当なし

一次評価	A
介護ヘルパーによる医療行為については制限があり、訪問看護師による介護は重度障害者及びその家族にとっては重要なものである。医療的ケアの必要な在宅障害者は増加傾向にある。	

事務事業実施内容

訪問看護利用料助成件数５０３件